

第四七回『日韓談話室』—崔書勉先生を囲む会—

拜啓

今夏は殊の他のお暑さに加え、折々水害にも崇られた我が日本国ですが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと心からお喜び申し上げます。さて、談話室も先般、外遊先から帰路お立ち寄り賜りました韓国の金鍾沁元総理に、親しくお話を頂きまして、五億ドル借款が故朴正熙大統領の強いご要望によるもので、種々の両国における請求権の履行よりも、韓国経済の早期復興を願われたことで実行された由来を、今更に詳らかにお話下さり今尚、多々問題となつてゐる種々の補償問題をこの前提に立ち戻り両国共、解決に努めるべきであることを痛感致しました。韓国と日本、この切つても切れない繁りを、更にもつと究めてゆく必要があるのではと思ひます。

折も折、橋本明代表世話人がご学友の今上天皇との接点から研究執筆された史実を纏められた著書「仮題『皇室考』」の解説と日本の皇室と韓国との係わりについてお話下さる事となりました。

本日はまたお目出度くも皇位継承順位第三位の男子皇族のご誕生。この件につきましてもお話を伺えると存じます。

崔書勉先生におかれては、現在は殆どソウルにて、ライフワークの仕上げにご専念のご来日。最近の険しい日韓問題・安重根義士の墓域の御研究についてお話賜れる事と存じます。

ご都合宜しければ 九月十一日より日韓親善協会中央会第五回訪韓団を組織された越智通雄先生よりも報談が伺えると存じます

各位にも奮つてご出席下さいます様ご案内申し上げます。

敬 具

二〇〇六年九月六日

『日韓談話室』 代表世話人

堀 渉

世話人

橋 本 明

嘉 陽 嘉 枝  
寺 田 佳 子

記

日 時 二〇〇六年十月二日(月) 十八時より 二〇時半まで

(受付開始十七時半より)

場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 電話 〇三―三二六一―九九二二

JR・地下鉄(有楽町線・南北線・新宿線)市ヶ谷駅前

会 費 六〇〇〇円 簡単なお弁当をご用意しております

(注)当日お取消は御容赦下さい

ご出欠は同封はがきにて九月二十六日(火)迄に御知らせ下さる様お願い申し上げます

『日韓談話室』連絡先・オズインターナショナル内 寺田・白村

電話 〇三―三四〇四―一一八八 ファックス 三四〇四―六三〇一